

みなさまの保険情報

INSURANCE INFORMATION

TOPIC

水災への備えは万全に!!

～ゲリラ・集中豪雨による水災が頻繁に起きています!!～



ここ数年は異常気象の影響で、ゲリラ豪雨や局地的な集中豪雨による水災の被害が頻繁にニュースや新聞などで報じられています。広島での土砂災害などの被害はまだ私たちの記憶に新しいところです。今や異常気象が当たり前のように各地で起き得るという状況のなか、各家庭でもできる範囲での防災・減災とりわけ水災への備えを図っておく必要があります。

局地的な大雨が家庭にもたらした水災例

ケース1

マンション4階の住居で、ベランダの排水溝に枯れ葉やビニール袋がつまり排水不全になり、たまった雨水がサッシを乗り越えて部屋に浸水。その水が3階、2階、1階の階下の部屋に被害をもたらしました。

ケース2

大雨で地域の河川の水域が増し、水が下水道を逆流してマンホールのふたを押し上げるような状況のなか、河川から半径100メートル以内の住居では、風呂場やトイレの排水溝から水が逆流するようなケースが相次ぎました。

ケース3

一階が地上よりやや低いところに位置する「半地下」づくりの集合住宅や戸建ての住居で、今まで経験したことがないような大雨による床上浸水の被害が起きました。



これらのケースは、ゲリラ豪雨と呼ばれるような集中豪雨を経験したことがない家庭で実際に起きた水災の一例です。

自分の住まいの地域でも水災は起こり得る意識を持って備えよう!!

こうした水災への対応に詳しい鑑定会社によると、「家庭における水災への備えとしては、室内への浸水をなるべく抑えることがポイントです。例えば、



入ってきた水を外に放出するための揚水ポンプを購入しておくことと万一の時に役立ちます。また、玄関先やベランダと部屋の境など浸水しそうな場所にベニヤ板を立てかけることも効果的です」とい

います。

日頃から、ベランダの排水溝のつまり具合など家周りをチェックするとともに、防災グッズを備えておくことが大切です。そして、テレビやラジオ、新聞などの天気予報に注意することです。そして何よりも、自分の住まいの地域でも水災などの影響は起こり得るという意識を持って生活することが重要です。

